

平成23年度個別施策ヒアリング資料(-)【文部科学省】

施策番号	24002	施策名		海洋生物資源確保技術高度化			
新規／継続	新規	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	○
競争的資金	○	e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	海洋に関する観測データの高度な解析などにより海洋生物資源の生態等を解明し、天然資源の管理技術及び養殖技術の高度化を行い、海洋生物資源を安定供給するための基盤的技術開発を実施する。						
達成目標及び達成期限	平成32年度までに、水産業へ当該事業で得られた技術を移転できるものに完成させ、安定的、持続的な海洋生物資源の確保の実現を目標とする。						
研究開発目標及び達成期限	海洋生物資源の基礎的な知見の向上及び海洋生物資源を直接生産する技術に関する基礎的な研究開発を実施する（平成27年）。これを踏まえて養殖技術の実用化や資源量予測・管理につなげるため、応用研究を実施する（平成32年）。						
23年度の研究開発目標	本施策により、平成23年度中に、 ・研究課題の公募と採択を実施し、研究開発に着手をする。						
施策の重要性	地球温暖化に伴う海水温の上昇等により、海洋生物の生態への影響が懸念される。また絶滅が危惧されるとして漁業活動が制限されるなど、ここ数年、我が国の食糧としての海洋生物資源の確保に関する問題意識が高まっており、「新成長戦略」等において指摘されているとおり、これは国が率先して取り組むべき課題である。						
実施体制	研究開発主体は公募により決定。課題設定については農林水産省の意見を踏まえ実施する。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
—				278			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				—			
H23概算要求額の内訳	1課題あたりの金額:70 ・うち間接経費:16 採択予定課題数:4 —						
期間	H23～H32			資金投入規模(億円)		28	
これまでの成果(継続のみ)	—						
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	—						
昨年度優先度判定(継続のみ)	—	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)		—			
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	海洋生物資源に関する科学的成果等についてシンポジウムを開催する等、アウトリーチ活動の実施を評価要件として加える予定						